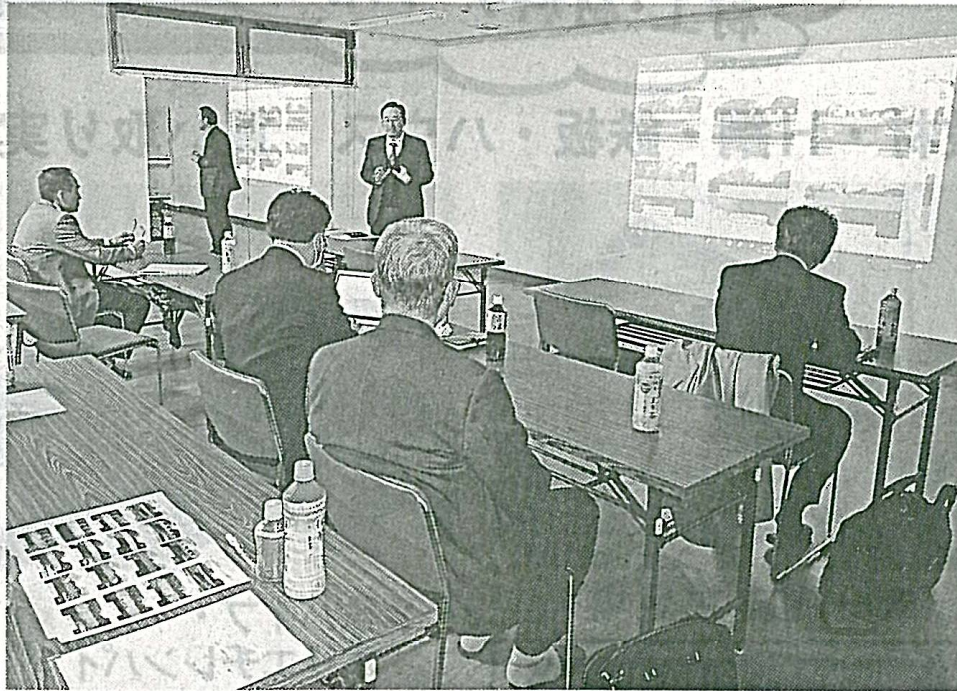


「平和の灯」の洗浄、補修試験 定例サロンで結果を報告

広島県コンクリート診断士会 来月には軍艦島研修へ



広島県コンクリート診断士会(米倉亜州夫会長)写真)による第28回定例サロンが8日、広島市中区で開催され、会員約30人



定例サロンの様子

が出席。今年1月にボラン
ティアで実施した広島平
和記念公園内「平和の灯」
の高圧洗浄及び補修試験
の結果などが報告された
ほか、損傷事例の模擬診
断演習も行われた。

を務めた鈴木智郎副会長
(復建調査設計)は、「平和
の灯」の高圧洗浄でコンク
リート表面の汚れが期待
以上に取れ、きれいになっ
たことなどを報告し、会
員有志の協力に感謝。一
方、補修試験では、使用材
料の違いによる外観改善
効果の違いなどが判明し

た。広島市によって今後
検討される予定の補修工
事に向け、「工法選定のメ
ドが立った」という。

後半では、コンクリー
ト構造物の損傷事例を紹
介し、それを参加会員が
模擬診断する実践的な演
習も開かれ、米倉会長(米
倉社会インフラ技術研究
所)は、「コンクリート診
断士の技術力底上げのた
めには、このような臨床
的な経験が重要。今後は
会員だけでなく、コンク
リート診断士資格取得希
望者にも広く公開した
い」と述べた。

なお、同会では今年4
月、(一社)コンクリート
メンテナンス協会(徳納
剛会長)と共同により長
崎市の端島(軍艦島)で
の現地研修会を開く。約
40人が参加し、長崎市職
員の案内のもと、老朽化
したコンクリート建築物
を調査する予定だ。